

ご存知ですか？

荒尾市のごみ事情



環境保全課環境業務係 ☎ 63-1370

近年、全国的に人口減少が進んでいます。本市でも人口は徐々に減少していますが、ごみの量はほぼ横ばいの状態となっています。一人あたりのごみ排出量は増加の傾向にあります。

【荒尾市のごみ量】

	H23	H24	H25	H26	H27
燃えるごみ量	13,534トン	13,647トン	13,745トン	13,737トン	13,516トン

【荒尾市の人口】

	H23	H24	H25	H26	H27
人口	55,717人	55,381人	54,889人	54,455人	54,091人

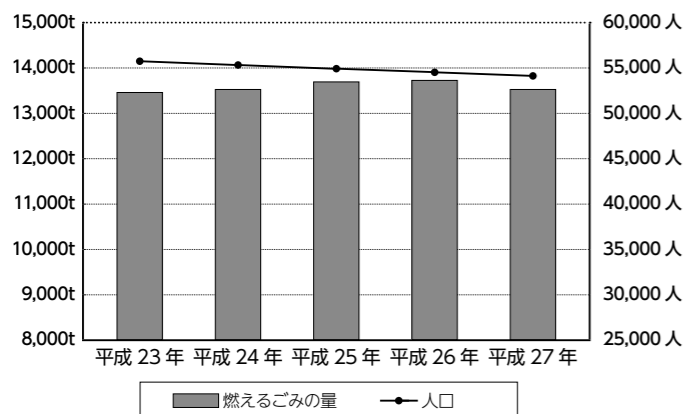
【荒尾市のごみ処理費用】

平成 27 年度 ごみ処理費用	978,489,821 円
--------------------	---------------

【荒尾市のごみ処理費用】

一人当たりの 年間ごみ処理費用 (H27 年度実績)	18,090 円 / 人
----------------------------------	--------------

◎荒尾市の燃えるごみの量と人口の推移



Pick Up News!

①市指定ごみ袋事業者用小袋（15 リットル）を新規販売します

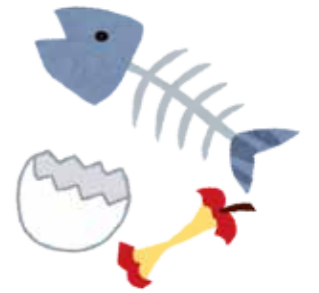
これまで市指定ごみ袋の事業者用は 45 リットルサイズの 1 種類のみでした。ごみ減量化の促進を図ることや利便性を高めるため 4 月 1 日(土)から市指定ごみ袋事業者用小袋（15 リットル）を新規販売します。お買い求めは販売店へお願いします。
一組（10 枚入り） 446 円

②平成 29 年度ごみ・リサイクル年間カレンダーを配布しています

広報あらお 3 月号と一緒に配布していますので、ご家庭で保存されてください。
※カレンダーは、市役所内（市民課、環境保全課）のほか市民サービスセンター、中央公民館にも置いてありますので、ご自由にお持ちください。
※平成 29 年度版より、広告入りカレンダーを導入しています。

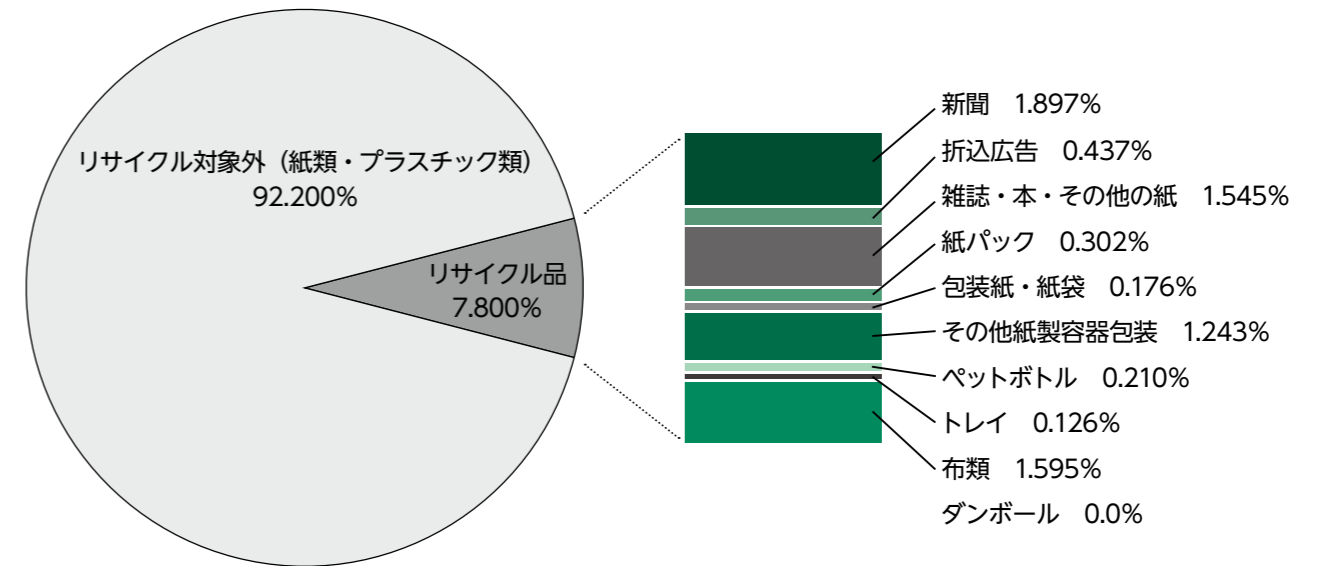
燃えるごみの組成調査を行いました

平成 28 年 11 月 28 日にリレーセンター東宮内にてご家庭から出された燃えるごみの組成調査を行いました。
組成調査：ごみを任意で採取した後に、その内訳を調査するもの。今回は 238.22kg 採取



【組成調査結果】

組成調査を実施した結果、「燃えるごみ」として収集したごみの中で正しく分別されていた割合は 92.2 パーセント、「リサイクル物」・「燃えないごみ」に該当する割合は 7.8 パーセントでした。この数値は全国的に見ても良い数値であり、市民の皆さんの日頃からのごみ分別に対するご協力のおかげです。



市のごみ処理費用はまだまだ削減できます ご協力をお願いします！

組成調査結果で「燃えるごみ」に 7.8 パーセント混入していた「リサイクル」・「燃えないごみ」がなくなった場合、ごみ処理の負担が減少します。

現在、大牟田市と共に燃えるごみの処理を行っています。その費用の一部は燃えるごみの量によって負担割合が決まります。ごみ処理には莫大な費用がかかっています。平成 27 年度決算額を基に試算すると、燃えるごみの 7.8 パーセント分は 1 年間で 1,711 万 7,000 円分になります。正しく分別することでごみ処理にかかる費用を削減することができます。

生ごみの約 50 パーセントは水分です。水切りを行うことでごみ処理費用を削減することができます。

※お知らせ

犬・猫・カラスなどがごみ袋を荒らし、中のごみが飛散するとの苦情が増加しています。各家庭でネットや重しを置く、生ごみの水切りで臭いを少なくするなどの飛散防止対策をよろしくお願いいたします。